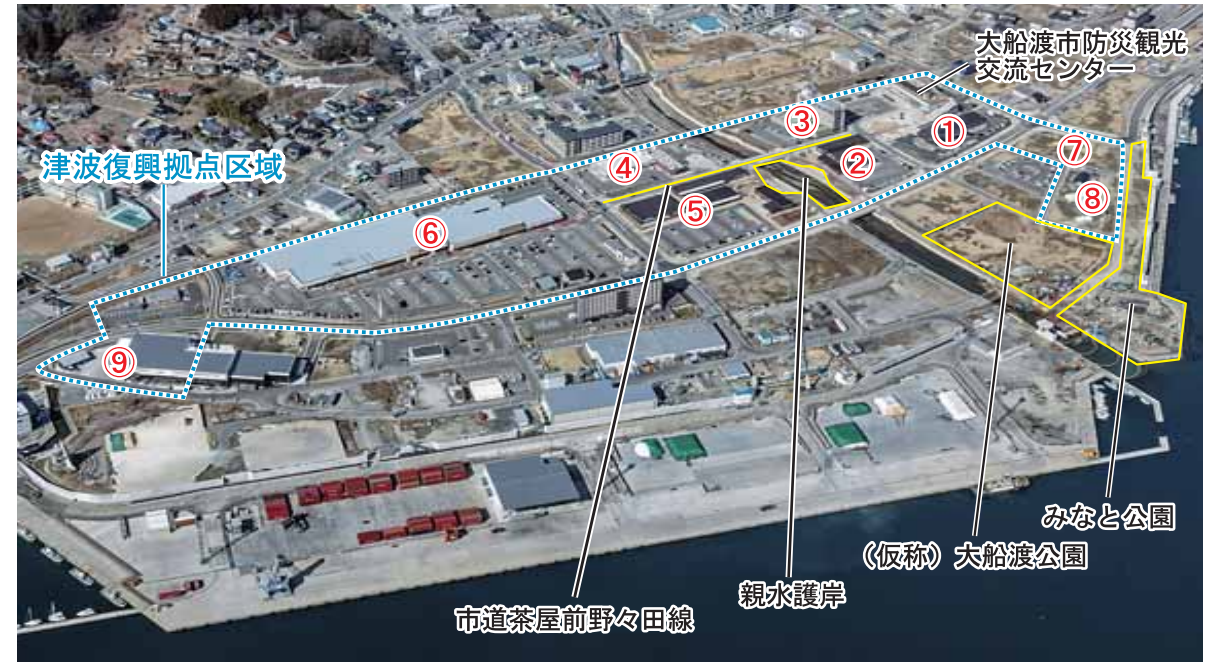


まちづくりの状況

防災性を高め、復興を先導する拠点となる市街地を形成するため、津波復興拠点整備事業を進め、平成29年度内に全ての基盤整備や建設工事が完了します。また、官民一体となりエリアマネジメント(住民や事業者などによるまちの価値向上に資する自主的取り組み)によるまちづくりを推進するため、その推進母体となるまちづくり会社「株式会社キャッセン大船渡」を関係者とともに設立しました。エリアマネジメントの取り組み状況は、(株)キャッセン大船渡において、自ら運営する「キャッセン・フードビレッジ」と「キャッセン・モール&パティオ」を中心に、周辺街区と連携しながら、イベントやワークショップの取り組みを行っているところです。

大船渡駅周辺地区の基盤整備完了後の平成31年度以降は、取り組み範囲を、津波復興拠点区域全体まで拡大予定です。



商業エリアの配置図

街区	施設の概要	進ちょく
① キャッセン・ファクトリー	・飲食、物販、体験 ・交流スペース	オープン済
② キャッセン・フードビレッジ	・飲食、物販、サービス ・ライブハウス	オープン済
③ キャッセン・ステイ	・ホテル、飲食、宴会場	オープン済
④ キャッセン・ドリームプラザ	・飲食、物販、サービス ・コミュニティスペース	オープン済
⑤ キャッセン・モール&パティオ	・飲食、物販、サービス ・コミュニティスペース ・スーパーマーケット	オープン済
⑥ キャッセン・大船渡ショッピングセンター	・ホームセンター ・飲食、物販、コンビニ	オープン済
⑦ キャッセン・ピア	・企業誘致なども想定し、事業計画を作成中	調整中
⑧ キャッセン・クリエイティブファーム	・物販 ・ものづくり施設・ワイナリー	平成30年春 オープン予定
⑨ 特定業務施設	・水産加工場、飲食、物販	オープン済



イベントもできる親水護岸



街路灯をフラッグで装飾



津波復興拠点区域は無電柱に



周辺環境との調和に配慮した須崎川沿いの舗装道



車道の蛇行で車両の速度を抑え歩行者の安全を確保



雨天時でも歩きやすくランニングもできる歩道

■整備が進んだ道路や親水護岸

■(仮称)大船渡公園・みなと公園の整備  
憩いとにぎわいを創出する公共空間

来街者が憩い、共に楽しむことができる商業エリアを形成するため、市と岩手県の共同で公共空間の整備を進めています。両公園は、将来にわたり来街者に親しまれる空間となるよう、市民などを対象としたワークショップを開催し、(仮称)大船渡公園についてはパブリックコメントを実施して空間のあり方などについてのご意見をいただき、計画づくりを進めてきました。今後は、施設整備を進めていくとともに、公園利用に関するマナー・ルールなどを検討していきます。

- (仮称)大船渡公園(市主体)
  - ▽位置づけ 彩りと仕掛けに満ちたまち・川・海を繋げる公園
  - ▽施設概要 下図のとおり
  - ▽完成予定 平成30年度内
- みなと公園(県主体)
  - ▽位置づけ 海を眺める丘
  - ▽施設概要 下図のとおり
  - ▽完成予定 平成31年度内



(9) 広報大船渡復興特集号